

【開催報告】 事務所総合力 強化プロジェクト主催

# 「決算書の目利き 力👁️👁️を極める！」

(開催日:平成30年2月7日(水) 於:TKC近畿京滋会研修センター)



講師:岡村勇毅 先生  
(巡回監査・事務所経営委員長)

## 【講演内容の一部】 中小企業を取り巻く環境

- ・**これまでの金融行政の流れ**  
森金融庁長官就任後、ゲームのルールが変わった
- ・**事業性評価の促進**  
事業性評価に基づく担保・保証に依存しない融資の促進  
企業から評価される地域金融機関の取組み
- ・**日本型金融排除による中小企業の成長阻害**  
金融機関と企業間に存在する情報の非対称性の解消・  
低減のためのシグナリング

## ・ローカルベンチマーク(非財務情報に基づく分析)

財務情報に加えて非財務情報についても、対話を通じた把握、経営者の気づきを期待/予防医学として早期経営改善計画が重要

## ・企業の休廃業・解散

大廃業時代の到来・社長が高齢化  
休廃業・解散件数は倒産件数を大幅に上回る

## ・出口戦略

出口戦略に関する事業承継の選択肢と問題点  
社会情勢の変化に伴い、M&Aに対する価値観・意識も変化→業界再編型へ

## 演習問題(一部)

食品製造業を営むA社は、業績検討会時に当期の決算で 1000 万円の利益が出ることが予想され、法人税もおおよそ 400 万円であることが分かりました。社長に説明をしたところ社長から次のような質問を受けました。

「今年は新たに設備を導入し新製品の開発をした結果売り上げも増えたのは事実です。帳簿上では 1000 万円の利益が出そうだと言うことは解りました。しかし、普通預金がこの一年間で 1000 万円増えるどころか 500 万円近く減って残高は 500 万円程度しかありません。これで 400 万円の税金を納めろと言われてもどうしても納得がいきません。いったい 1000 万円の利益はどこに消えてしまったのですか？」

監査担当者であるあなたは社長に判り易くその原因を説明し、どのような対策をアドバイスすべきか考えてください。

受講者数 25名

【アンケート結果】

よく理解できた	68%
理解できた	28%
ある程度理解できた	4%
理解できなかった	0%

ありがとう  
ございました

## 受講者様の感想



●大変勉強になりました。特に資金繰りやキャッシュフローの話はすぐにでも活かせるよう積極的に取り組んでいきたいと思えます。



●巡回時での業績報告はP/L中心の会話をしていましたが、今回の講座を受講してB/Sの重要性に気づかされました。社長は単月の利益を気にしがちですが、会社の財務状態であるB/Sの話も会話に盛り込んでいきたいと感じました。



●現場に近い研修内容でイメージしやすく分かり易かった。  
事務所の若手にも出てもらいたい。



●中小企業を取り巻く環境から、巡回時・決算時の目の付け所等トークの引き出しが増えたと思えます。経営者の方に数値の目の付け方を磨いてもらう為にも自分が目利き力を磨くべきだと痛感しました。

●頭の整理ができた感じでスッキリしています。B/Sは奥が深くておもしろいと感じました。

●実際にB/SやP/Lを見て計算し、答え合わせをすることで理解が深まったと思えます。

●P/Lで利益が出ているかどうかばかりに気をとられていますが、B/Sからも読み取れることがたくさんあることがわかり勉強になりました。

